



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 日本農業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 飯島 豊和

TEL 03-6361-1400

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

平成29年6月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	35,489	18.3	3,600	28.2	3,794	16.1	2,384	18.8
28年9月期第2四半期	29,996	14.2	5,011	49.7	4,521	52.1	2,935	54.2

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 4,571百万円 (206.6%) 28年9月期第2四半期 1,491百万円 (78.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	35.68	
28年9月期第2四半期	43.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	100,803	52,755	49.4
28年9月期	88,791	48,697	52.1

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 49,833百万円 28年9月期 46,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		7.50		7.50	15.00
29年9月期		7.50			
29年9月期(予想)				7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	17.5	3,900	11.9	3,600	6.9	2,200	112.5	32.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	70,026,782 株	28年9月期	70,026,782 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	3,189,288 株	28年9月期	3,189,034 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	66,837,634 株	28年9月期2Q	66,838,328 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業の生産活動と収益が伸長するとともに、雇用情勢が改善し個人消費が持ち直すなど引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

しかしながら、景気の先行きは米国新政権の政策運営や英国のEU離脱に加え欧州各国の国政選挙の動向などを巡る不確実性が継続し、依然不透明な状況にあります。

当第2四半期連結累計期間までの国内農薬出荷実績は、ほぼ前年同期並みの水準で推移しました。国内農業を取り巻く環境は、「農林水産業・地域の活力創造本部」が新たな農業・農村対策として「農業競争力強化プログラム」を決定し、農家の所得向上とわが国の農業の競争力強化を目指していますが、農業従事者の高齢化、後継者不足の深刻化や耕作放棄地の増加など構造的な課題の解決は進んでいません。また、海外市場においても、南米市場における流通在庫過多などの影響から農薬需要は低調に推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Advance to Growing Global 2018 (AGG2018) グローバル企業への前進」に取り組み、自社開発品目の普及拡販と海外事業の拡大を目指しました。当第2四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度末に連結子会社化したブラジルのSipcam Nichino Brasil S.A.の業績を連結業績に含めたこともあり、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、ノウハウ技術料収入の減少や為替が円高基調で推移したことなどから前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は354億89百万円（前年同期比54億93百万円増、同18.3%増）となりました。営業利益は36億円（前年同期比14億10百万円減、同28.2%減）、経常利益は37億94百万円（前年同期比7億26百万円減、同16.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億84百万円（前年同期比5億50百万円減、同18.8%減）となりました。

なお、中間配当金は1株につき7円50銭とさせていただくことといたしました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、新製品1剤の販売を開始し品目ポートフォリオの拡充を図るとともに、主力自社開発品目である園芸用殺虫剤「フェニックス」や水稻用殺菌剤「ブイゲット」などの普及拡販に努めました。一方、農薬原体販売では販社の在庫調整の影響などから売上高が伸び悩み、国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、米州の販売が好調に推移しました。品目別では、Nichino America, Inc.の主力品目である殺菌剤「モンカット」が、作付面積が拡大した落花生の「白絹病」に卓効を示すことを評価され売上高が伸長しました。さらに、Sipcam Nichino Brasil S.A.の業績を当社の連結業績に含めたこともあり、為替は円高基調で推移したものの、海外販売全体の売上高は前年同期を上回りました。なお、殺ダニ剤「ダニコング」は韓国において本年1月に製剤登録を取得し、2月より販売を開始しました。

ノウハウ技術料収入は技術導出先の主要販売地域の害虫の小発生の影響などから売上高が伸び悩み、前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は327億79百万円（前年同期比56億21百万円増、同20.7%増）となり、営業利益は32億59百万円（前年同期比12億42百万円減、同27.6%減）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤の売上高は前年同期並みとなりましたが、緑化薬剤分野において新規品目の販売開始もあり、売上高が伸長しました。一方、医薬品事業では、外用抗真菌剤「ラノコナゾール」、「ルリコナゾール」の売上高が販売競争の激化などから前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は16億72百万円（前年同期比2億36百万円減、同12.4%減）となり、営業利益は4億90百万円（前年同期比1億79百万円減、同26.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ120億11百万円増加し、1,008億3百万円となりました。これは、農薬の需要期となる第2四半期の季節的変動による売上債権の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ79億53百万円増加し、480億47百万円となりました。これは、短期借入金及び仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40億58百万円増加し、527億55百万円となりました。これは、四半期純利益による利益剰余金及び為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,159	12,450
受取手形及び売掛金	19,465	31,924
電子記録債権	603	1,129
商品及び製品	10,065	10,350
仕掛品	454	550
原材料及び貯蔵品	4,273	4,134
その他	3,741	4,213
貸倒引当金	△418	△487
流動資産合計	53,344	64,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,565	5,714
機械装置及び運搬具(純額)	3,553	3,556
土地	6,354	6,464
その他(純額)	1,018	844
有形固定資産合計	16,491	16,580
無形固定資産		
のれん	7,150	7,680
その他	978	1,083
無形固定資産合計	8,128	8,764
投資その他の資産		
投資有価証券	6,156	6,569
その他	4,684	4,650
貸倒引当金	△13	△26
投資その他の資産合計	10,827	11,194
固定資産合計	35,446	36,538
資産合計	88,791	100,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,833	11,019
電子記録債務	460	1,178
短期借入金	4,449	10,433
未払法人税等	119	1,150
賞与引当金	630	611
製品回収関連費用引当金	1,044	137
その他の引当金	23	46
営業外電子記録債務	138	7
その他	6,809	7,236
流動負債合計	22,509	31,822
固定負債		
社債	1,848	2,104
長期借入金	11,567	9,920
退職給付に係る負債	1,418	1,377
その他の引当金	91	54
その他	2,657	2,768
固定負債合計	17,583	16,225
負債合計	40,093	48,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	13,235	13,235
利益剰余金	26,351	28,235
自己株式	△1,726	△1,726
株主資本合計	48,801	50,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,353	1,678
為替換算調整勘定	△3,766	△2,423
退職給付に係る調整累計額	△101	△105
その他の包括利益累計額合計	△2,514	△851
非支配株主持分	2,410	2,922
純資産合計	48,697	52,755
負債純資産合計	88,791	100,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	29,996	35,489
売上原価	17,405	23,264
売上総利益	12,590	12,225
販売費及び一般管理費	7,579	8,625
営業利益	5,011	3,600
営業外収益		
受取利息	21	97
受取配当金	38	45
不動産賃貸料	40	42
為替差益	102	377
持分法による投資利益	—	220
その他	44	109
営業外収益合計	247	892
営業外費用		
支払利息	77	243
デリバティブ評価損	—	260
持分法による投資損失	539	—
その他	120	194
営業外費用合計	737	698
経常利益	4,521	3,794
特別利益		
投資有価証券売却益	—	169
特別利益合計	—	169
特別損失		
固定資産処分損	30	3
製品回収関連費用	—	113
特別損失合計	30	116
税金等調整前四半期純利益	4,490	3,847
法人税等	1,547	1,272
四半期純利益	2,942	2,575
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,935	2,384

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	2,942	2,575
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	324
為替換算調整勘定	△724	1,941
退職給付に係る調整額	△5	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△685	△265
その他の包括利益合計	△1,451	1,996
四半期包括利益	1,491	4,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,543	4,047
非支配株主に係る四半期包括利益	△52	523

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,490	3,847
減価償却費	707	744
のれん償却額	224	309
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△123	△20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△95	△63
製品回収関連費用引当金の増減額(△は減少)	—	△906
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25	△19
受取利息及び受取配当金	△60	△143
支払利息	77	243
デリバティブ評価損益(△は益)	—	260
持分法による投資損益(△は益)	539	△220
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△169
売上債権の増減額(△は増加)	△12,572	△11,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	△658	424
仕入債務の増減額(△は減少)	3,062	1,686
その他	△1,012	△588
小計	△5,446	△6,440
利息及び配当金の受取額	42	143
利息の支払額	△61	△240
法人税等の支払額	△1,132	△242
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,597	△6,780
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△461	△531
無形固定資産の取得による支出	△51	△134
投資有価証券の取得による支出	△533	△50
投資有価証券の売却による収入	—	229
定期預金の預入による支出	△134	△288
定期預金の払戻による収入	175	303
その他	△186	509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,191	36
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	6,448	6,463
短期借入金の返済による支出	△187	△599
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,200	△1,658
リース債務の返済による支出	△62	△66
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△501	△501
非支配株主への配当金の支払額	△20	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,477	3,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,660	△2,719
現金及び現金同等物の期首残高	7,835	13,629
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,495	10,910

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,158	1,909	29,067	928	29,996	—	29,996
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	0	3	521	525	△525	—
計	27,160	1,909	29,070	1,450	30,521	△525	29,996
セグメント利益	4,501	670	5,171	226	5,397	△386	5,011

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△386百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△357百万円、未実現利益の調整等△28百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,779	1,672	34,452	1,037	35,489	—	35,489
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	0	3	489	493	△493	—
計	32,782	1,673	34,456	1,527	35,983	△493	35,489
セグメント利益	3,259	490	3,749	248	3,998	△398	3,600

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△398百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△398百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。